

国立三瓶青少年交流の家ボランティア育成ビジョン

～「学び・気づきのある活動の場」を提供し、
社会人基礎力育成を軸として、これからのリーダーを育てます～



☆法人ボランティアの育成像(平成30年8月 国立青少年教育振興機構教育事業部)

- ①社会人としての能力を備えていること。
- ②社会形成に参画する態度を育み地域社会に貢献できる能力を有すること。
- ③自立した人間として主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造できること。

☆さんボラとして目指す姿

みんなの笑顔のための3つの信条

- 『愛情』：人と人とのつながりの中で、自他が尊重される社会を実現しようとする意欲を持つこと
- 『知恵』：自ら課題を発見し、その解決策を考え抜くこと
- 『勇気』：失敗を恐れず、一步前に踏み出し行動することができること

※さんボラとは、国立三瓶青少年交流の家で活動をしているボランティアのこと

☆循環的ボランティア育成プログラム

☆交流の家職員のサポート体制



- スマイル SMILE**：利用者の笑顔をひきだすのは、私たち職員自身の笑顔であると考え、元気で笑顔あふれる対応を心がけます。
- ポジティブ POSITIVE**：私たちは、「できない」と言う前に、まずは「どうすればできるか」を前向きに考えます。
- セーフティ SAFETY**：私たちは、常に利用者の安全を第一に考え、安心して研修に向きあえるよう行動します。
- ルール RULE**：私たちは、この施設が社会のルールを学ぶ場であることを意識し、率先して規律ある行動を心がけます。
- プライド PRIDE**：私たちは、次代を担う青少年の成長に関わっていることに誇りをもって働きます。
- トライ&エラー TRY&ERRROR**：私たちは、「失敗から学ぶ」ことの大切さを、全ての業務において常に意識し、それが研修者の成長につながるよう努めます。

第一段階

育成の入口

『ボランティアとして取り組む人材を安定確保することを目指す段階』

【4つのポイント】

- ①交流の家で取り組むボランティア活動によってもたらされる、**参加者の益(活動の魅力)を十分に伝え**、「また参加したい」「自分にとってプラスになる」等の気持ちを育むことを目指す。
- ②ボランティアを行うことで得られることやどのような活動が行えるかを具体的に**みえる化する**ことで、今まで参加がなかった高校や大学からの新規ボランティアの獲得を目指す。
- ③**Web申込**を導入し、参加申込を行いやすくすることを目指す。
- ④**法人ボランティア登録の場を増やす**ことを目指す。

第二段階

育成の継続

『自主性を重視した企画活動を行い、継続して活動するボランティアに「継続して取り組むだけの価値がある」「多くの人にも伝えたい」と感じさせることを目指す段階』

- ①『**自主企画事業**』
将来のリーダーとして不可欠な、リーダーシップを身につけるための場として、体験を通じた学びを提供する。リーダーシップをキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返し、対人関係力等のリーダーとして必要な資質の向上を図る。
- ②『**スキルアップ研修**』・『**運営補助**』
青少年教育に関する専門性を高めるための学びを提供する。

第三段階

循環的育成サイクル

『「育成の入口」、「育成の継続」を包括的に捉え、継続して取り組むボランティアと、新規で取り組むボランティアを様々な事業で**有機的に交流する機会**を提供する。これによって、**継続して取り組むボランティアが新規ボランティアを育成する(もしくはメンターとして影響を与える)**機会をつくり、「育成の入口」から「育成の継続」へと交流の家職員に依存することなく**ボランティア同士で循環的な育成を実現することを目指す**』

☆ボランティア育成の「さんボラモデル」

☆ボランティアの入口

さんべボランティアセミナー（6月）
対象：新規ボランティア 約40名

NEALリーダー養成研修
キラリ！三瓶☆夏☆キャンプ
※分割カリキュラム制度（機会の拡大）

法人ボランティアとして登録

【分割カリキュラム制度】
教育事業等への運営補助を通じて、
ボランティア養成共通カリキュラムの各科目
の読替えを行う制度のこと
（三瓶青少年交流の家の独自のシステム）

☆活動に必要な技術・知識の習得

◆自然体験プログラムの指導技術の習得
◆ファシリテーション等の理論・技術の習得

さんべボランティア集会
（年3回）

◇企画の立案・運営のノウハウの習得

企画力・運営力アップセミナー
（9月、2泊3日）

☆自然体験活動の指導資格の取得

NEALリーダー養成研修
（9月、2泊3日）

NEAL資格獲得

☆交流の家の事業への参画

◆体験活動を支援する活動

「キラリ三瓶☆夏☆キャンプ」（8月、4泊5日）
「親子向け事業」（6月～3月、1泊2日）
国立三瓶青少年交流の家の各種事業へ
ボランティアスタッフとして参画する

◆研修支援

さんべで夏ボラ（8月、2泊3日）等
国立三瓶青少年交流の家の研修支援へ
ボランティアスタッフとして参画する

◆地域への体験活動普及啓発活動

彼岸市（9月、3月）等
日帰り各種地域イベントへ
ボランティアスタッフとして参画する

☆自主企画へ向けた知識・技術の習得

◇自主企画支援事業

「さんべ夢ステージ」
（9月～12月）
ボランティアが1泊2日の事業の企画運営を行う
企画立案・広報・運営すべてボランティア主体で実施



☆自主企画の実践

ボランティア自主企画（通年）
ボランティアがチームを組んで
交流の家でのフィールドだけでなく、
地域をまきこみ、
主体的な企画立案事業を行う。